

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	1 高齢者の社会参画の促進
-----	---------------

施策主管課	高齢福祉課	総合計画記載頁	87ページ
-------	-------	---------	-------

1 施策の位置付け

政策の柱	I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	2 高齢期の生活を充実する	政策の達成目標 (基本施策目標)	高齢者が、自らの介護予防に積極的に取り組み、住み慣れた地域で、健康で生きがいを持ち、また、介護が必要になっても尊厳を保持しながら、安心して自立した生活を送っています。
------	-----------------------------	----------------	---------------	---------------------	---

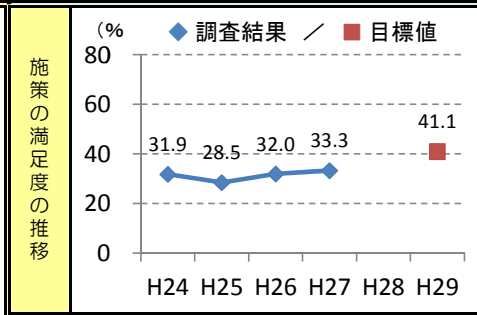
2 施策の取組状況

施策目標	高齢者一人ひとりが、地域の中で自らの知識や経験を生かしながら、元気に行動し、いきいきと暮らしています。
------	---

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	高齢者がボランティア活動へ参加している割合(%)	単年度目標値	—	—	11.0	12.0	12.5			13.0	—	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	31.9%	28.5%	32.0%	
	現状値	10.0%	実績値	—	—	10.8	—		目標値(H29)	41.1%	前年度からの増減				-3.4%	3.5%	1.3%		
	目標値(H29)	13.0%	単年度の達成度	—	—	98.2%	—		③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B	
指標2	みやシニア活動センター延利用者数(人)	単年度目標値	2,900	3,500	4,200	5,000	6,000	7,200	A	【参考】 中核市等との水準比較	シルバー人材センター会員数 /65歳以上1千人	中核市平均	20.1	19.1	17.8	17.0			
	現状値	2,631	実績値	3,175	3,936	4,748	5,663				実績値	16.2	15.8	14.4	14.3				
	目標値(H29)	7,200	単年度の達成度	109.5%	112.5%	113.0%	113.3%				中核市での本市の順位	28位/41市中	23位/41市中	26位/42市中	24位/43市中				
	現状値		実績値							中核市平均									
	目標値(H29)		単年度の達成度							実績値									
										中核市での本市の順位									

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 減退型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	少子高齢化の進行に伴い、生産年齢人口が減少するなか、高齢者は地域における様々な活動の重要な担い手となっており、地域では、元気な高齢者が、今後、急増が予想されるひとり暮らし高齢者などを支える担い手として活躍することを期待しており、また、高齢者自身も、地域活動等に生きがいを求めている。	市民満足度	高齢者人口の増加に伴い高齢者の価値観やライフスタイル、社会参画に関するニーズも多様化しているなか、一人ひとりの高齢者が、地域の中で自らの経験や知識を生かしながら、健康で生き生きと暮らすことができるよう「高齢者等地域活動支援ポイント事業」などを新たに取り組んできたことにより、施策の満足度については増加していると考える。	総合評価	83点 概ね順調
施策指標	・指標2に掲げた「みやシニア活動センターの利用者数」については、シニア世代のニーズに応じた情報提供や活動支援つながるよう、市まちづくりセンターなどの関係機関・団体と連携しながら、地域デビュー講座や出前講座などの企画事業の充実を図ったことにより、目標値を上回る成果を得られた。				

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	みやシニア活動センター事業	○★	高齢者のニーズに応じたライフスタイルづくりの支援	シニア世代	・総合相談、企画事業(定期講座・講演会等)、ネットワーク会議等の実施	計画どおり	4,324	H20		多様化する高齢者のニーズに応じたライフスタイルづくりを支援できるよう、引き続き、まちづくりセンターや生涯学習センター、ボランティアセンターなどの関係機関・団体等との連携を図りながら、同センター事業の周知・普及に取り組んでいく。
2	高齢者等地域活動支援ポイント事業	○★	高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいがづくり	60歳以上の高齢者	・高齢者等が取り組む「地域貢献活動」や「健康づくり活動」に対しポイントを付与し、貯めたポイントを介護保険料の納付やバスカード等の活動奨励物品などと交換する。	計画どおり	8,801	H26		高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいがづくりにつながるよう、引き続き、参加促進に向けた周知に取り組んでいく。
3	高齢者外出支援事業	○★	高齢者の外出支援の充実	年度内に70歳以上になる高齢者	・年度に1回の5,000円相当のバス乗車券等の交付(1,000円又は2,000円の自己負担あり)	計画どおり	95,045	H15		高齢者の外出を支援するために、バス乗車券のIC化や地域内交通等公共交通の整備状況に合わせ、事業の充実を図っていく。
4	シルバー人材センター運営費補助金	○★	高齢者の就労支援の充実	公益社団法人宇都宮市シルバー人材センター(対象:概ね60歳以上での健康で働く意欲のある高齢者)	・公益社団法人シルバー人材センターへの運営費の補助、活動場所の提供、業務委託	計画どおり	58,838	S55		今後、さらなる高齢者の増加が見込まれ、高齢者の就業機会の確保の必要性が高まることから、当該団体が引き続き効果的・効率的な運営ができるよう、支援・指導を行っていく。
5	老人クラブ活動費助成事業	★	交流の場や交流機会の提供	単位老人クラブ(対象:60歳以上の高齢者)	・活動費への補助金の交付	計画どおり	17,976	S39		老人クラブが多様化する高齢者ニーズに対応した魅力ある組織となるよう、宇老連を通して単位老人クラブの活動内容の一層の充実を働きかけながら、活動の活性化に向けた支援を行っていく。
6	老人クラブ運営費助成事業		交流の場や交流機会の提供	宇都宮市老人クラブ連合会(対象:60歳以上の高齢者)	・宇都宮市老人クラブ連合会への運営費の補助	計画どおり	3,978	S59		高齢社会のさらなる進展に伴い、地域における老人クラブの果たす役割は益々大きくなることから、その育成・支援を行う当該団体がより一層効果的・効率的な運営ができるよう、支援・指導を行っていく。
7	長寿祝記念品贈呈事業		高齢者への長寿祝いと高齢者福祉の理解促進	満80歳、90歳、100歳到達者、市内最高高齢者	・対象者への敬老祝金の支給 ・対象者への祝詞及び記念品の贈呈	計画どおり	89,636	H10		社会状況の変化や高齢者のニーズを踏まえ、必要なサービスが提供できるよう、事業内容の見直しを検討していく。
8	敬老会開催共催負担金		高齢者への長寿祝いと高齢者福祉の理解促進	地区社会福祉協議会(対象:75歳以上高齢者)	・各地区での敬老会の開催支援、開催負担金の交付	計画どおり	87,969	S57		地域において、より多くの高齢者が参加し、高齢者との交流の場として活用してもらえるよう、関係団体との連携を図りながら円滑に実施していく。
9	生きがいがづくり推進事業派遣事業補助金		高齢者の生きがいがづくりの促進	ねんりんピック(参加資格60歳以上)に出場する本市の栃木県代表選手	・出場に係る費用の一部を補助	計画どおり	400	H14		高齢者の生きがいがづくりや健康づくりを推進していくため、出場に係る費用の一部を負担することにより、大会出場の機運を高めていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <p>◆高齢者の社会参加の促進については、「みやシニア活動センター」や「高齢者等地域活動支援ポイント事業」などの事業を着実に進める必要がある。また、より多くの高齢者の社会参画を推進できるよう、様々な機会を通じて、広く、事業の周知に取り組む必要がある。</p>	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆平成27年3月に策定した「にっこり安心プラン」に基づき、高齢者の健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる、笑顔あふれる長寿社会の実現に向けて、市社協をはじめとする関係機関・団体と連携しながら、高齢者の社会参画の仕組みづくりに取り組むとともに、高齢者の生きがいがづくりの促進を図る。</p> <p>〈主要事業〉 ◆みやシニア活動センター事業 多様化する高齢者のニーズに応じたライフスタイルづくりを支援できるよう、引き続き、まちづくりセンターや生涯学習センター、ボランティアセンターなどの関係機関・団体等との連携を図りながら、同センター事業の周知・普及に取り組むほか、高齢者等の多様なニーズに応じた魅力ある事業内容や運営方法についても検討を進める。</p> <p>◆高齢者等地域活動支援ポイント事業 高齢者が充実した高齢期を送ることができるよう、また、まちづくりの担い手として活躍できるよう、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいがづくりの促進に向け、引き続き、参加促進に向けた周知に取り組んでいく。</p> <p>◆高齢者外出支援事業 高齢者の社会参画や生きがいがづくりを促進するため、主要な公共交通機関であるバスを、移動手段として手軽に利用できるよう支援する事業であることから、引き続き、制度の周知を図るとともに、バス乗車券のIC化や地域内交通等公共交通の整備状況に合わせ、事業の充実を図っていく。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>